

聖使徒行実の読み（ 11 : 19 ~ 26, 29 ~30 ）

謹みて聴くべし

か 彼の日、ステファンの時に^{おこ}起りし^{きんちく}窘逐に^よ因りて^{さん}散じたる者は、^ゆ往きて、フィニキヤ、キプル、
 アンティオヒヤにまで^{いた}至りしが、イウデヤ人の外、^{ほか}何人にも^{なんびと}言^{ことば}を^{つた}傳へざりき。然れども、^{しか}彼等
 の中に、^{うち}キプル、及び、^{ひとびと}キリネヤの人人あり。アンティオヒヤに入りて、^い主・イイススを^{ふくいん}福音して、
 エルリン人に^{つた}傳へたり。主の手、^{とも}彼等と^あ偕に在り、^き多数の人、^き信じて主に^き歸せり。此の事の
^{きこえ}聲聞、^あイエルサリムに在る^{およ}教會の^{つかわ}耳に及びたれば、^{いた}ワルナワを^{いた}遣して、アンティオヒヤに至
 らしめたり。彼、^{きた}來りて、^{おんちよう}神の^{かつ}恩^{しゅうじん}寵を見て^{かた}喜び、^{したが}且、^{したが}衆人^{したが}に、^{したが}心を^{したが}堅くして^{したが}主に^{したが}従ふことを
^{すす}勧めたり。蓋、^{けだし}彼は^{ぜんにん}善人にして、^{せいしん}聖神^{しん}と^み信とに^み満てられたる者なり。是に於て、^{ここ}許^{おい}多の^{あまた}民
 は、^つ主に^{そののち}就けり。其後、^ゆワルナワは^{たず}タルスに^{これ}往きて、^あサウルを^あ尋ね、^あ之に^あ遇ひて、アンティオヒ
 ヤに^{たずさ}攜へ^{いた}至れり。彼等、一年間、^{あつま}教會に^{あまた}集りて、^{おし}許多の民を^{おし}訓へたり。

門徒が「ハリスティアニン」と稱せらるゝこと、アンティオヒヤより^{はじ}始まれり。

その^{その}其時、^{おのおの}門徒、^{そのも}各、^{したが}其有てる所に^お随ひて、^おイウデヤに^{けいてい}居る^{たすけ}兄弟に、^{おく}扶助を^{おく}餽らんことを
^{さだ}定めたり。遂に^{つい}之を^{これ}行^{おこな}ひて、^{たく}ワルナワ、及び^{ちようろうら}サウルの手に^よ託して、^よ長老等に^よ寄せたり。